

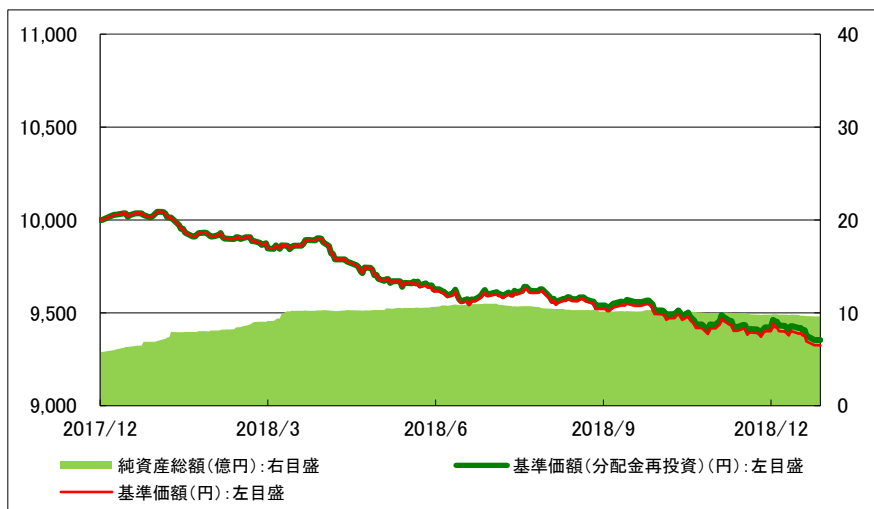


スカイオーシャン・世界債券戦略ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)
追加型投信/内外/債券

当初設定日 : 2017年12月28日
作成基準日 : 2018年12月28日

スカイオーシャン・世界債券戦略ファンド(為替ヘッジあり)

◆ 基準価額の推移(為替ヘッジあり)



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

◆ 基準価額、純資産総額(為替ヘッジあり)

	当月末	前月末比
基準価額	9,324 円	- 78 円
純資産総額	9.61 億円	- 0.19 億円

◆ 期間別騰落率(為替ヘッジあり)

	騰落率
1ヵ月	-0.72%
3ヵ月	-2.13%
6ヵ月	-2.19%
1年	-6.47%
3年	-
設定来	-6.47%

- ※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しており、実際の投資者利回りとは異なります。

◆ 分配の推移(1万口当たり、税引前)(為替ヘッジあり)

	設定来分配金合計額 30 円			
	3月	6月	9月	12月
2018年	0 円	10 円	10 円	10 円
2019年	- 円	- 円	- 円	- 円

- ※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

◆ 組入投資信託証券の状況(為替ヘッジあり)

投資信託証券	比率
ストラテジック・インカム・ファンド クラスA(円建て為替ヘッジあり)	98.57%
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.01%
その他	1.43%
合計	100.00%

- ※ 対純資産総額比です。

◆ 基準価額変動の要因分析(概算値)(為替ヘッジあり)

前月末基準価額	9,402円	
当月お支払いした分配金	-10円	
要因	インカムゲイン	35円
	キャピタルゲイン等	-62円
	為替ヘッジプレミアム/コスト	-31円
	信託報酬等	-10円
当月末基準価額	9,324円	

- ※ 基準価額変動の要因分析は、組入債券の値動き等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。あくまで傾向を知るための目安としてご覧ください。

- ※ インカムゲインは一定の前提のもとに直接利回りを用いて、キャピタルゲイン等は基準価額の月間変動額から各要因を差し引いて算出しています。また、為替ヘッジプレミアム/コストは、対米ドルの直物為替レートと為替予約レートとの価格差等から簡便的に算出しています。なお、上記数値は、実際の運用における数値とは異なります。

(参考)

為替ヘッジプレミアム/コスト(年換算)	-3.95%
---------------------	--------

<当資料の取扱いに関する留意事項>を必ずお読みください。

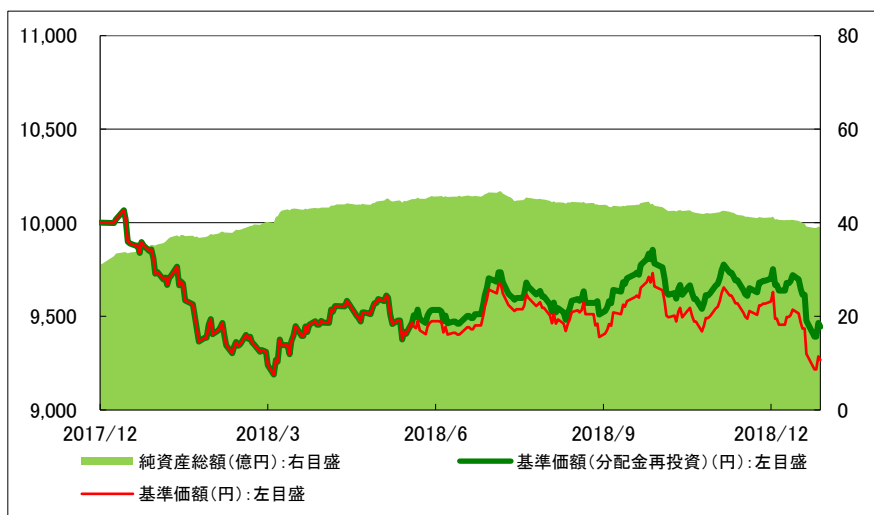


スカイオーシャン・世界債券戦略ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)
追加型投信/内外/債券

当初設定日 : 2017年12月28日
作成基準日 : 2018年12月28日

スカイオーシャン・世界債券戦略ファンド(為替ヘッジなし)

◆ 基準価額の推移(為替ヘッジなし)



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
 ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

◆ 基準価額、純資産総額(為替ヘッジなし)

	当月末	前月末比
基準価額	9,267 円	- 302 円
純資産総額	39.07 億円	- 2.02 億円

◆ 期間別騰落率(為替ヘッジなし)

	騰落率
1ヵ月	-2.54%
3ヵ月	-3.38%
6ヵ月	-0.29%
1年	-5.56%
3年	-
設定来	-5.56%

- ※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しており、実際の投資者利回りとは異なります。

◆ 分配の推移(1万口当たり、税引前)(為替ヘッジなし)

	設定来分配金合計額 180 円			
	3月	6月	9月	12月
2018年	0 円	60 円	60 円	60 円
2019年	- 円	- 円	- 円	- 円

- ※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

◆ 組入投資信託証券の状況(為替ヘッジなし)

投資信託証券	比率
ストラテジック・インカム・ファンド クラスA(円建て為替ヘッジなし)	98.81%
FOFs用短期金融資産ファンド(適格機関投資家専用)	0.00%
その他	1.19%
合計	100.00%

- ※ 対純資産総額比です。

◆ 基準価額変動の要因分解(概算値)(為替ヘッジなし)

前月末基準価額	9,569円	
当月お支払いした分配金	-60円	
要因	インカムゲイン	36円
	キャピタルゲイン等	-65円
	為替変動要因	-202円
	信託報酬等	-10円
当月末基準価額	9,267円	

- ※ 基準価額変動の要因分析は、組入債券の値動き等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。あくまで傾向を知るための目安としてご覧ください。

- ※ インカムゲインは一定の前提のもとに直接利回りを用いて、キャピタルゲイン等は基準価額の月間変動額から各要因を差し引いて算出しています。また、為替変動要因は、対米ドルの為替レートの変動率を用いて算出しています。なお、上記数値は実際の運用における数値とは異なります。

<当資料の取扱いに関する留意事項>を必ずお読みください。



スカイオーシャン・世界債券戦略ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)
追加型投信/内外/債券

当初設定日 : 2017年12月28日
作成基準日 : 2018年12月28日

ストラテジック・インカム・ファンドの資産の状況

◎ 「ストラテジック・インカム・ファンド」は「ストラテジック・インカム・ファンド クラスA(円建て為替ヘッジあり/円建て為替ヘッジなし)」のマスターファンドです。

◆ 特性値

直接利回り	4.22 %
最終利回り	4.43 %
デュレーション	3.02 年
平均格付	A-
組入れ銘柄数	391 銘柄

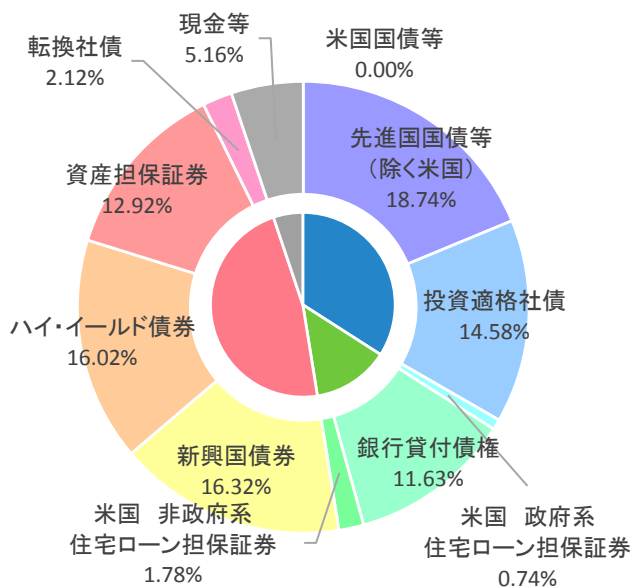
※ 直接利回り、最終利回り(いずれも税引前)は純資産総額に対する値、その他は組入債券に対する値です。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。
※ 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、当ファンドの信用格付ではありません。
※ 平均格付算出にあたり、保有債券の格付は、原則としてS&P社、Moody's社、Fitch社の格付を採用し、3社の格付がある場合は中央値を採用しています。また、2社の格付がある場合は低い方を採用しています。

◆ 組入上位5カ国

	国	比率
1	米国	53.30%
2	カナダ	5.08%
3	インドネシア	4.06%
4	メキシコ	3.52%
5	国際機関	3.13%

※対純資産総額比です。

◆ 債券等種別構成比率



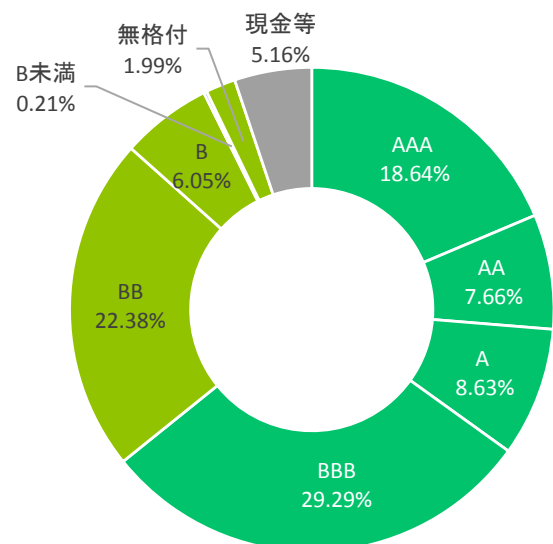
高い信用力(高格付)の債券等 景気後退・低迷局面で魅力度が高まります	34.06%
変動金利の債券等 金利上昇局面で魅力度が高まります	13.41%
信用力は相対的に劣るが利回りの高い債券等 景気回復・安定局面で魅力度が高まります	47.37%

◆ 組入上位5通貨

	通貨	比率
1	米国ドル	78.73%
2	ユーロ	6.91%
3	インドネシア・ルピア	3.52%
4	カナダ・ドル	2.48%
5	フィリピン・ペソ	1.64%

※対純資産総額比です。

◆ 格付構成比率



投資適格	64.21%
投資適格未満	30.63%

※ 対純資産総額比です。
※ 平均格付算出にあたり、保有債券の格付は、原則としてS&P社、Moody's社、Fitch社の格付を採用し、3社の格付がある場合は中央値を採用しています。また、2社の格付がある場合は低い方を採用しています。
※ 債券等種別に関する説明は、経済環境と各種債券等の一般的な関係について理解を深めていただくためのイメージであり、すべての経済環境や債券等にあてはまることを保証するものではありません。

※ 「ストラテジック・インカム・ファンドの資産の状況」は、スカイオーシャン・アセットマネジメントがマニユライフ・アセット・マネジメント(US)LLCからの情報提供にもとづき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<当資料の取扱いに関する留意事項>を必ずお読みください。

スカイオーシャン・アセットマネジメント



ストラテジック・インカム・ファンドの資産の状況

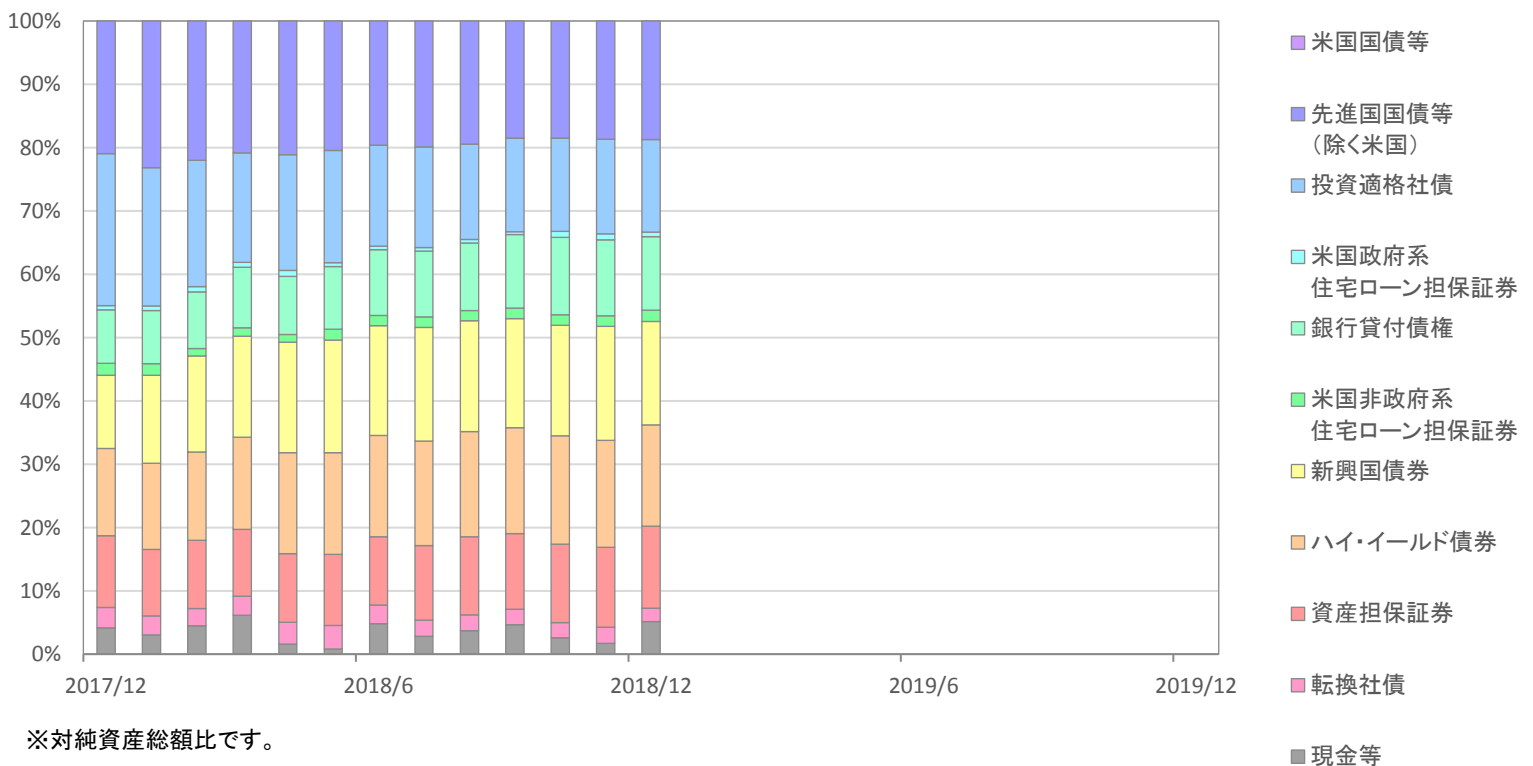
◆ 組入上位10銘柄

	銘柄名	債券種別	国名	償還日	クーポン	比率
1	アイルランド国債 3.9% 3/20/2023	先進国国債等(除く米国)	アイルランド	2023/3/20	3.900%	1.22%
2	ブラジル国債 10% 1/1/2023	新興国債券	ブラジル	2023/1/1	10.000%	1.20%
3	カナダ国債 1.25% 11/1/2019	先進国国債等(除く米国)	カナダ	2019/11/1	1.250%	1.16%
4	ブラジル国債 10% 1/1/2021	新興国債券	ブラジル	2021/1/1	10.000%	0.93%
5	メキシコシティ・エアポート・トラスト 5.5% 7/31/2047	新興国債券	メキシコ	2047/7/31	5.500%	0.89%
6	アイルランド国債 3.4% 3/18/2024	先進国国債等(除く米国)	アイルランド	2024/3/18	3.400%	0.88%
7	ノルウェー国債 3.75% 5/25/2021	先進国国債等(除く米国)	ノルウェー	2021/5/25	3.750%	0.80%
8	シンガポール国債 3.25% 9/1/2020	先進国国債等(除く米国)	シンガポール	2020/9/1	3.250%	0.71%
9	ノルウェー国債 4.5% 5/22/2019	先進国国債等(除く米国)	ノルウェー	2019/5/22	4.500%	0.65%
10	スイス・インシュアード・ブラジル・パワー・ファイナンス 9.85% 7/16/2032	新興国債券	ブラジル	2032/7/16	9.850%	0.61%

※クーポンは、作成基準日現在適用されるものを表示しています。

※比率は、対純資産総額比です。

◆ 債券等種別構成比の推移



※対純資産総額比です。

※「ストラテジック・インカム・ファンドの資産の状況」は、スカイオーシャン・アセットマネジメントがマニユライフ・アセット・マネジメント(US)LLCからの情報提供にもとづき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

＜当資料の取扱いに関する留意事項＞を必ずお読みください。



ストラテジック・インカム・ファンドの資産の状況

◆ ファンドマネージャーコメント

<投資環境とパフォーマンス>

- 米国では、米中貿易摩擦の悪化懸念や景気減速懸念などから安全資産としての米国債の需要が高まり、国債利回りは低下しました。米投資適格債は、国債利回りの低下を受けて上昇しました。米ハイ・イールド債券は、原油安や景気減速懸念などにより投資家のリスク回避姿勢が高まったことから下落しました。
- 欧州では、ユーロ圏の経済成長見通しへの懸念などにより国債利回りが低下したほか、英国においても世界的な景気減速懸念やEU(欧州連合)離脱を巡る不透明感の高まりを受けて、国債利回りが低下しました。新興国全体では、国債利回りが低下しました。
- 外国為替市場では、円は米ドルに対しては、米国および世界景気の減速懸念、一部の米国政府機関閉鎖などへの懸念などを背景に低リスク通貨とされる円が買われた(円高米ドル安)ほか、FRB(米連邦準備制度理事会)の利上げペースが減速するとの見方や米国長期金利の低下などが円買い要因となり、月間で上昇(円高米ドル安)しました。ユーロに対しても、景気減速懸念や株安に対する投資家のリスク回避姿勢の高まりのほか、ユーロ圏の経済指標悪化などをを受けて、円が上昇(円高ユーロ安)しました。
- 12月のパフォーマンス(米ドルベース)はマイナスとなりました。その他先進国債券や米投資適格社債の保有などがプラス寄与しましたが、米ハイ・イールド債券や銀行貸付債権などの保有がマイナス寄与しました。

当ポートフォリオのカテゴリー別のパフォーマンス状況

先進国国債等	米国では、米中貿易摩擦の悪化懸念や景気減速懸念などから国債利回りは低下しました。欧州では、ユーロ圏の経済成長見通しへの懸念などにより国債利回りが低下したほか、英国においても世界的な景気減速懸念やEU離脱を巡る不透明感が高まり、国債利回りが低下しました。
新興国債券	新興国全体では、国債利回りが低下しました。
投資適格社債	国債利回りの低下を受けて上昇しました。
ハイ・イールド債券	原油安や景気減速懸念などにより投資家のリスク回避姿勢が高まったことから下落しました。
資産担保証券 (米国住宅ローン担保証券含む)	米国債利回りの低下を受けて上昇しました。
その他	銀行貸付債権は、原油安や景気減速懸念などにより投資家のリスク回避姿勢が高まったことから下落しました。転換社債は、株安を受けて下落しました。
通貨	米ドルは、量的金融緩和が終了したユーロや利上げのあったスウェーデンクローナに対して下落しましたが、原油安の影響を受けたオーストラリアドルやカナダドルに対しては上昇しました。

<今後の見通し>

- 世界経済は緩やかに成長している一方、米国を中心とした貿易摩擦問題、地政学リスクの高まり、市場のボラティリティ(価格変動性)の高まりなどを背景に減速リスクが高まっています。ただし、2019年に世界経済が景気後退局面に入るとは考えておりません。このような緩やかで安定的な経済成長の環境は、債券市場にとってプラスと考えますが、投資資産のバリュエーション、利回り、流動性、リスクを十分に理解したうえで、バランスをとった分散投資を行うことが重要と考えます。
- 世界景気の減速懸念やインフレが抑えられていることを背景に、急激な金利上昇リスクは減少したと考えられます。ただし、長期的には金利が上昇していくとの見通しのもと、まだリスクを積極的にとる段階ではないと考え、ポートフォリオの平均残存年数をやや短めとした保守的なポートフォリオを維持しつつ、各国の金融政策や経済状況に応じて機動的に調整を行ってまいります。今後の金利上昇につながる材料として、米中貿易交渉の行方、中国の追加景気刺激策、原油などのコモディティ価格、各国中央銀行の金融政策の転換などに注視してまいります。
- ハイ・イールド債券については、特に格付けの低い銘柄は景気変動の波を受けやすいと考えられることから、業種、格付け、発行体の選別がより重要と考えます。
- 米国以外の先進国国債や資産証券化商品(MBS(不動産担保証券)やABS(資産担保証券)など)はリスク分散のために保有します。
- 新興国については、国、格付け、通貨によってパフォーマンスの格差が拡大すると考えており、経常赤字や対外債務に注視し、慎重かつ選別的な投資を行うことによって、先進国に対する分散効果や高い利回りが期待できると考えられます。
- 通貨に関しては、米国と他の主要国との金利差が縮小していくと考えられることから、米ドルの上昇トレンドは続かないと予想します。ただし、短期的にはボラティリティの高い局面に対応するために、通貨配分を機動的に調整してまいります。

※「ストラテジック・インカム・ファンドの資産の状況」は、スカイオーシャン・アセットマネジメントがマニユライフ・アセット・マネジメント(US)LLCからの情報提供にもとづき作成していますが、掲載データに関する情報の正確性、信頼性、完全性を保証するものではありません。

<当資料の取扱いに関する留意事項>を必ずお読みください。

スカイオーシャン・アセットマネジメント



ファンドの特色

1. 世界の様々な種類の債券等に分散投資をおこないます。
2. 景気動向や投資環境の変化をとらえ、債券等の配分比率を変更し、トータル・リターン(金利収入および値上がり益)の最大化をめざします。
3. 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのタイプがあります。

投資リスク

《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
したがって、**投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。**
- **投資信託は預貯金とは異なります。**

【金利変動リスク】

債券、バンクローン等の価格は、一般的に金利低下(上昇)した場合は値上がり(値下がり)します。なお、債券、バンクローン等が変動金利である場合、こうした金利変動による価格の変動は固定金利の場合と比べて小さくなる傾向があります。また、発行者・債務者等の財務状況の変化等およびそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。加えて、物価連動債券の価格は、物価変動および将来の物価変動に対する市場予想の変化によっても変動します。債券、バンクローン等の価格が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【為替変動リスク】

為替相場は、各国の経済状況、政治情勢等の様々な要因により変動します。投資先の通貨に対して円高となった場合には、基準価額の下落要因となります。なお、投資対象ファンドにおいて、外貨建資産について、為替予約を活用し、為替変動リスクの低減をはかる場合がありますが、完全にヘッジすることはできませんので、外貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、為替ヘッジをおこなう通貨の短期金利と円短期金利を比較して、円短期金利の方が低い場合には、当該通貨と円の金利差相当分のコストがかかりますが、さらに需給要因等によっては金利差相当分を上回るコストがかかる場合があることにご留意ください。

【信用リスク】

有価証券等の発行体等が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、またはそれが予想される場合には、有価証券等の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。相対的に格付が低い発行体等の有価証券等に投資する際には、信用度に関するマーケットの考え方の変化の影響をより大きく受ける可能性があり、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなるリスクがより高いものになると想定されます。

【カントリーリスク】

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化、外国為替規制、資本規制、税制の変更等の事態が生じた場合、またはそれが予想される場合には、方針に沿った運用が困難になり、基準価額の下落要因となる可能性があります。また、新興国への投資は先進国に比べ、上記のリスクが高まる可能性があります。

【流動性リスク】

時価総額が小さい、取引量が少ない等流動性が低い市場、あるいは取引規制等の理由から流動性が低下している市場で有価証券等を売買する場合、市場の実勢と大きく乖離した水準で取引されることがあり、その結果、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

<当資料の取扱いに関する留意事項>を必ずお読みください。



お申込みメモ

- 購入単位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入価額 … 購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
- 換金単位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換金価額 … 換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。(信託財産留保額の控除はありません。)
- 換金代金 … 原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
- 申込締切時間 … 原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
- 購入・換金 … 申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けられないものとします。
申込受付不可日
・ニューヨーク証券取引所の休業日
・ニューヨークの銀行休業日
- 換金制限 … ファンドの規模および商品性格などにもとづき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間および金額の制限をおこなう場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入・換金申込受付の中止および取消 … 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、委託会社は購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの取消をおこなうことがあります。
- 信託期間 … 原則として、2017年12月28日(設定日)から2028年6月5日までとします。
- 繰上償還 … 主要投資対象ファンドが償還される場合には、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させます。次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受益者と合意の上、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させることができます。
・受益権の口数が30億口を下回るようになった場合
・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合
・やむを得ない事情が発生した場合
- 決算日 … 毎年3月、6月、9月、12月の各5日(休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 … 年4回、毎決算時に原則として収益分配をおこなう方針です。
※第1期決算時には収益分配をおこないません。
第2期以降の毎決算時に、原則として分配をおこないます。
- 課税関係 … 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度(NISA)および未成年者少額投資非課税制度(ジュニアNISA)の適用対象です。
なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。
- スイッチング … 「スカイオーシャン・世界債券戦略ファンド(為替ヘッジあり)」および「スカイオーシャン・世界債券戦略ファンド(為替ヘッジなし)」の間でスイッチングができます。スイッチングの方法等は、購入、換金の場合と同様です。(販売会社によっては、スイッチングの取扱いをおこなわない場合があります。)

ファンドの費用

《投資者が直接的に負担する費用》

■ 購入時手数料

購入申込受付日の翌営業日の基準価額に**2.7%(税抜2.5%)を上限**として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

■ 信託財産留保額

ありません。

《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》

■ 運用管理費用(信託報酬)

純資産総額に対して**年率0.7884%(税抜0.73%)**

■ 投資対象とする投資信託証券

純資産総額に対して年率0.47%(ファンドが投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のものを表示しています。)

※上記のほか組入有価証券の売買時にかかる費用、ファンドの設立・開示にかかる費用等(監査費用、弁護士報酬等)、管理報酬等は投資対象ファンドが負担します。

■ 実質的な負担

純資産総額に対して**年率1.2584%程度(税込)**

この値は目安であり、投資対象ファンドの実際の組入れ状況により変動します。

■ その他の費用・手数料

有価証券の売買・保管、信託事務にかかる諸費用等をその都度、監査費用を日々、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「お申込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜当資料の取扱いに関する留意事項＞を必ずお読みください。



スカイオーシャン・世界債券戦略ファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)
追加型投信/内外/債券

当初設定日 : 2017年12月28日
作成基準日 : 2018年12月28日

委託会社・その他の関係法人の概要

- 委託会社 スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社(ファンドの運用の指図をおこなう者)
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2831号
加入協会 : 一般社団法人投資信託協会
ホームページ : <http://www.soam.co.jp/>
サポートデスク : 045-225-1651 受付時間 9:00~17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管および管理をおこなう者)

販売会社

商号等		登録番号	加入協会
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会

- ・ お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、販売会社へお申し出ください。
- ・ 販売会社は今後変更となる場合があります。

<当資料の取扱いに関する留意事項>

- ◆ 当資料はスカイオーシャン・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法にもとづく開示書類ではありません。
- ◆ ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- ◆ 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクをとまいません。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- ◆ 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外で購入された場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- ◆ 当資料は信頼できると判断した各種情報等にもとづき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- ◆ 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータにもとづき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。

<当資料の取扱いに関する留意事項>を必ずお読みください。